



平成 24 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 ア ビ ッ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 熊 崎 友 久  
(コード番号：7836)  
問 合 せ 先 管 理 本 部 本 部 長 桐 原 威 憲  
( TEL. 045-670-7720)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

平成 23 年 11 月 9 日に公表いたしました標記開示資料に一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正致します。また、数値データの修正がありましたので訂正後の数値データも送信致します。

#### 記

##### 1. 訂正理由および訂正影響額の概要等

当社は、平成 24 年 5 月 14 日付「過年度決算訂正の可能性および平成 24 年 3 月期決算短信(非連結)の発表延期についてのお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成 20 年 4 月に行われた取引について不適切な会計処理が判明したため、調査委員会を立ち上げ、調査を進めました。

その結果、平成 20 年 4 月に、当社が販売した製品を仕入先経由で買い戻した取引において、販売先が滞納していた売掛債権の残額にて買い取ったことにより、買い戻した製品の適正評価額以上の資産を計上していたという不適切な会計処理が発覚、それに伴い、過大な資産をレンタル資産として減価償却したため、減価償却費の計上についても訂正の必要性が発覚いたしました。

なお、訂正理由および訂正影響額の詳細につきましては、平成 24 年 6 月 27 日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多岐にわたるため、訂正後の全文を添付し、修正箇所に下線を付しております

以上

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月9日

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)熊崎 友久  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部本部長 (氏名)桐原 威憲 (TEL)045(670)7711  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	469	18.1	42		42		42	
23年3月期第2四半期	397	10.3	62		63		62	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	184 45	
23年3月期第2四半期	320 47	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,290	365	28.3
23年3月期	1,272	408	32.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 365百万円 23年3月期 408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0 00		0 00	0 00
24年3月期		0 00			
24年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,145	10.7	20		20		19		82 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

#### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	231,028株	23年3月期	231,028株
----------	----------	--------	----------

期末自己株式数

24年3月期2Q	株	23年3月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	231,028株	23年3月期2Q	195,803株
----------	----------	----------	----------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による急速な落ち込みから回復基調にあるものの、欧州の財政不安や米国経済の停滞による円高の進行、株式市場の低迷等により、今後の企業収益への影響が懸念させるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社はマーケットが拡大しているプロモーションメディアであるデジタルサイネージに的を絞り、安定的な収益基盤となる映像コンテンツの制作・配信やメンテナンスの運営事業、ix-boardやレンタルといったアセット事業の展開を図ってまいりました。

情報機器事業につきましては、上記のようなことを背景に、設備投資の抑制、販促活動の自粛など厳しい状況で推移しましたが、関東・東北以外の顧客への営業活動を強化した結果、サイバービジョン、ポールビジョンが順調に推移し、売上が大幅に増加いたしました。

運営事業につきましては、映像コンテンツ収入やメンテナンス収入の主力マーケットであるパチンコ業界が、震災後の輪番定休や営業時間の短縮、販促活動の自粛から表示機の稼働率が低下したため減収となりました。

アセット事業のレンタルにつきましては、既存顧客からの継続的受注がスポーツマーケットでの認知度を高め、新規顧客の獲得に繋がりました。また、ix-boardにつきましては、省電力であること、最新のニュースがリアルタイムに放映できることから、震災後は特に、地域の方々に役立つ情報ボードとして注目を集める結果となっており、着実に設置実績を伸ばしております。

以上の結果、売上高469,740千円（前年同期比72,128千円増）となり、営業損失42,676千円（前年同四半期は営業損失62,779千円）、経常損失42,137千円（前年同四半期は経常損失63,231千円）、四半期純損失は42,612千円（前年同四半期は四半期純損失62,748千円）となりました。

なお、第3四半期以降の映像看板の稼働率は徐々に回復傾向にあり震災前の水準に回復する見込みであります。新たにサービスを開始いたしました「Tempo（テンポ）」につきましては、稼働率の回復とともに順次増加していく見込みであります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末比48,693千円増の957,545千円となりました。その主な要因は、借入による現金及び預金の増加と、下期の販売案件に備えて仕入及び生産を行ったために商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末比30,483千円減の333,070千円となりました。その主な要因は、レンタル資産の販売と減価償却によるものです。

##### (負債)

負債合計は、前事業年度末比60,822千円増の925,132千円となりました。その主な要因は、事業に必要な運転資金を手厚くするために行った借入金の増加と、広告媒体収入の年間契約料を受領したことにより、前受収益が増加したことによるものです。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末比42,612千円減の365,484千円となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上によるものです。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ28,369千円増加し、305,047千円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費計上額55,236千円と前事業年度末に計上した大型案件の債権を回収したため、売上債権の減少による収入48,254千円等があったものの、税引前四半期純損失42,137千円の計上に加え、今後の販売案件に備えて仕入及び生産を行った棚卸資産の増加額69,855千円等により、11,182千円の支出(前年同四半期は94,796千円の収入)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産治具等の有形固定資産の取得による支出4,009千円と新サービスに対応するためのソフトウェアの取得による支出5,140千円により、9,649千円の支出(前年同四半期は3,012千円の収入)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

事業に必要な運転資金を手厚くするために行った長期借入による収入50,000千円及びリース債務の支払による支出797千円により、49,202千円の収入(前年同四半期は75,138千円の支出)となりました。

### (3)業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社の情報機器事業は、大型案件の納期が年度末に集中することから、売上高が第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第2四半期累計期間において、営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する状況を解消できていないことから、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、この状況を解消するために、経費の削減、業務の効率化、安定収益事業への変革のため策定したアビックス三ヵ年計画を押し進めており、計画通りに進捗しております。今後も月次での安定収益を拡大していくことで、当初の目的である「大口受注が無くても安定的に黒字化を実現するアビックス」を達成できると考えております。

また、親会社であるジャパン・ブレイクスルー2004投資事業有限責任組合を無限責任組合員として運営管理しており、当社が事業サポートを受けている株式会社JBFパートナーズにおいても、今後の事業方針については、十分な理解を頂いており、共に事業発展を目指すことが出来るものと考えております。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	276,677	305,047
受取手形及び売掛金	233,384	184,581
商品及び製品	285,327	333,304
仕掛品	328	433
原材料及び貯蔵品	102,586	107,212
その他	10,995	27,127
貸倒引当金	447	160
流動資産合計	908,852	957,545
固定資産		
有形固定資産		
車両運搬具(純額)	1,109	877
工具、器具及び備品(純額)	92,433	86,722
レンタル資産(純額)	176,536	143,886
リース資産(純額)	25,343	29,925
有形固定資産合計	295,422	261,411
無形固定資産		
投資その他の資産	3,168	7,839
その他	65,477	64,882
貸倒引当金	514	1,063
投資その他の資産合計	64,963	63,818
固定資産合計	363,553	333,070
資産合計	1,272,406	1,290,616
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,788	97,876
1年内返済予定の長期借入金	-	9,100
1年内償還予定の新株予約権付社債	350,000	350,000
未払法人税等	3,925	2,471
製品保証引当金	326	596
その他	51,288	59,292
流動負債合計	500,329	519,337
固定負債		
長期借入金	-	40,900
新株予約権付社債	350,000	350,000
その他	13,980	14,894
固定負債合計	363,980	405,794
負債合計	864,310	925,132
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	921,376	921,376
資本剰余金	517,286	517,286
利益剰余金	1,030,566	1,073,178
株主資本合計	408,096	365,484
純資産合計	408,096	365,484
負債純資産合計	1,272,406	1,290,616



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	397,612	469,740
売上原価	201,503	259,303
売上総利益	196,108	210,437
販売費及び一般管理費	1 258,888	1 253,114
営業損失( )	62,779	42,676
営業外収益		
受取利息	37	28
受取賃貸料	102	102
受取手数料	-	483
違約金収入	-	308
その他	66	129
営業外収益合計	205	1,051
営業外費用		
支払利息	427	511
社債利息	167	-
その他	62	-
営業外費用合計	657	511
経常損失( )	63,231	42,137
特別利益		
貸倒引当金戻入額	617	-
製品保証引当金戻入額	2,216	-
その他	158	-
特別利益合計	2,992	-
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,034	-
特別損失合計	2,034	-
税引前四半期純損失( )	62,273	42,137
法人税、住民税及び事業税	475	475
法人税等合計	475	475
四半期純損失( )	62,748	42,612

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	62,273	42,137
減価償却費	59,399	55,236
ソフトウェア償却費	442	468
貸倒引当金の増減額( は減少)	617	262
製品保証引当金の増減額( は減少)	6,933	269
受取利息及び受取配当金	37	28
支払利息	427	511
社債利息	167	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,034	-
売上債権の増減額( は増加)	155,913	48,254
たな卸資産の増減額( は増加)	2 10,149	2 69,885
未収消費税等の増減額( は増加)	-	1,876
仕入債務の増減額( は減少)	58,434	3,088
未払金の増減額( は減少)	4,401	89
未払法人税等(外形標準課税)の増減額( は減少)	837	978
未払消費税等の増減額( は減少)	15,275	7,875
その他	16,499	5,250
小計	96,223	9,528
利息及び配当金の受取額	37	28
利息の支払額	514	732
法人税等の支払額	950	950
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>94,796</b>	<b>11,182</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	-	500
有形固定資産の取得による支出	1,730	4,009
有形固定資産の売却による収入	4,884	-
無形固定資産の取得による支出	140	5,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,012</b>	<b>9,649</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	20,000	-
社債の償還による支出	50,000	-
リース債務の返済による支出	5,138	797
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>75,138</b>	<b>49,202</b>
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	22,670	28,369
現金及び現金同等物の期首残高	162,127	276,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 184,798	1 305,047

( 4 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。